いとう漁協が農芸品フェアに出店

2月22,23日に浜松市で行われた農芸品フェアにいとう漁協が出店しました。いとう漁協は、今年、加熱済みのサバすり身製品をラインナップに加えて、給食や惣菜素材として売り出し、今回、県西部でのPRのために出店しました。

県西部ではサバのすり身というと「焼津の黒はんぺん」のイメージで、生臭いものという先入観が強いようです。試食で感想を聞いてみると好印象で、サバ自体が受け付けない方もいましたが、サバといわなければそのまま口に入れるほど評判が良かったです。試食した方の多くが購入したと思われます。

地元の伊東市内のスーパーでは、商品棚の在庫が少ない状況で、かなり好評のようです。

(今井 基文)